

心が安らぐ健康文化都市

心身が健康で希望に満ちたまちづくり

- ▶健康文化都市づくり事業 222万円
- ▶母子福祉、衛生対策（乳児医療費、母子医療費など助成・母子父子福祉手当、妊婦・乳児健診事業など） 8,011万円
- ▶重度心身障害(児)者医療費助成 1億6,844万円

生きがいと安らぎの福祉のまちづくり

- ▶高齢者福祉対策（デイサービス事業、家庭奉仕員派遣事業委託、老人保護施設措置費、特別養護老人ホーム土佐清風園改築事業補助、ケアハウスたんぽぽ建設事業補助など） 1億9,270万円
- ▶介護保険導入事業 3,153万円
- ▶身体障害者福祉対策（身体障害者更生支援施設措置委託、障害者福祉手当など） 1億9,350万円
- ▶知的障害者福祉対策（知的障害者保護措置費、地域生活援助事業など） 1億8,814万円
- ▶児童福祉対策（民間保育所措置事業、児童手当など） 15億8,040万円

芸術・文化の創造とスポーツのまちづくり

- ▶芸術文化振興・市展・文化会館構想 959万円
- ▶ほ場整備・農道整備に伴う埋蔵文化財発掘調査 1,700万円
- ▶国体競技施設整備事業 4,030万円



ふたつめは「心が安らぐ健康文化都市」。その予算が左の枠のような配分になっているんだよ。

なるほど！「心身が健康で希望に満ちたまちづくり」は健康づくり・母子保健・医療などの予算。そして、「生きがいと安らぎの福祉のまちづくり」が、社会福祉、高齢者、障害者福祉、児童福祉などの予算になっているのね。



この項目には、子や孫の時代への基礎体力づくり、交通情報・通信のネットワークづくり、人にやさしい快適環境づくり、働く喜びに輝く産業づくり、災害復旧で構成されているよ。

そのとおりだよ。そして、最後が下の枠の「まちが煌めく産業元気都市」。

こうやってみると、「ムダなことをしなすべし」といって、必要不可欠な事業を削る必要はないよ。



これがすべてではないけれど、市民の誰もが「希望の持てる」ような市を目指してがんばっているんだよ。

まちが煌めく産業元気都市

子や孫の時代への基礎体力づくり

- ▶都市計画対策（後免町市街地再開発事業など） 5億2,014万円
- ▶中山間地域活性化対策（棚田地域等緊急保全対策事業など） 7,277万円

交通・情報・通信のネットワークづくり

- ▶道路新設改良 4億1,331万円
- ▶河川改良 2,055万円
- ▶阿佐線建設推進事業 884万円
- ▶高知空港周辺整備事業 3億5,000万円

人にやさしい快適環境づくり

- ▶公共下水道事業 3億3,796万円
- ▶雨水マンホール改良事業 1,500万円
- ▶農業集落排水事業 6億2,381万円
- ▶最終処分場施設整備事業 2億729万円
- ▶市環境センター運営管理 1億9,938万円
- ▶合併処理浄化槽設置整備補助 6,147万円
- ▶比江「紀貫之邸跡」公園整備事業 2,430万円

- 【消防・防災対策】
- ▶崖崩住家防災対策・土地災害防止事業 5,220万円
 - ▶救助工作車・指揮広報車購入 4,411万円
 - ▶緊急災害用無線機・通信機台・防災行進無線設置 1億2,815万円
- 【住宅の整備】
- ▶公営住宅建設事業 1億4,491万円

働く喜びに輝く産業づくり

- ▶緊急生産調整推進対策事業 1,504万円
- ▶企業誘致推進事業 1,202万円
- ▶レンタルハウス事業補助 2,700万円
- ▶商店街環境整備事業補助 875万円

災害復旧

- ▶農業用施設・農地・道路橋梁・河川災害復旧事業 2億5,741万円

「ねえねえクマさん、南国市が11年度にどんなことを目指しているのかは、先月号の施政方針で分かったけれど、その予算配分はどうなってるの？」

「じゃあ、一緒に平成11年度の予算をみてみよう！」



右のグラフが、平成11年度一般会計予算の歳入と歳出の内訳だよ。

あれっ！たしか昨年度は予算が市政初の100億円を超したはずだったよね？

いいところに気がついたね。それじゃあ、10年度一般会計と比較してみよう。



平成11年度の一般会計予算総額は、市立スポーツセンター建設事業の完了などで、昨年度予算に比べ7.9%の減となったんだ。

一般財源（市税、地方交付税など）は、昨年度に比べ2.2%の伸び、歳入の構成比は自主財源41.1%、依存財源58.9%の割合で、依然として厳しい財政状況だけれど、基金



「基金依存型財政構造を脱却する」という位置づけを、平成11年度の当初予算の主要な概要を一緒にみていくことにしよう。

内容は、平成7年度に策定した「南国市総合計画」に照らしてみよう！



「基金依存型財政構造を脱却する」という位置づけを、平成11年度の当初予算の主要な概要を一緒にみていくことにしよう。

内容は、平成7年度に策定した「南国市総合計画」に照らしてみよう！



「基金依存型財政構造を脱却する」という位置づけを、平成11年度の当初予算の主要な概要を一緒にみていくことにしよう。

内容は、平成7年度に策定した「南国市総合計画」に照らしてみよう！

人が輝く夢ロマン人間都市

- ▶公民館建設事業 1億1,761万円
- ▶生涯まちづくり推進・地域社会教育活動総合事業など 531万円
- ▶小・中学校教育振興費 1億4,731万円
- ▶瓶谷幼稚園園舎増改築事業 3億7,372万円
- ▶人権教育推進など同和教育振興費 1億2,361万円
- ▶留学生支援など国際交流事業・姉妹都市事業・ふれあい教室など 1,071万円

- ▶女性活動費および婦人会育成補助など 225万円
- ▶地域情報化推進・行政情報化事業 1,171万円
- ▶オナガドリ保護増徴事業 170万円

【若者のまちづくり】

- ▶少年育成センター事業 743万円
- ▶社会教育推進 1,148万円
- ▶成人式・青年の家・青年教育事業など 160万円



ひとつめは「人が輝く夢ロマン人間都市」。右側には市の顔づくり。左側にはまほろびとづくり。すなわち生涯学習・人権・交流関係の予算だよ。

カヨちゃんとかマさんが語る

南国市の平成11年度予算